

ドイツ各地の展示場と環境

調査期間：2025年5月16日～25日

1. 各地の展示場

1-1. Messe Freiburg

展示ホール 1-4 の4ホール合計 21,500 m²。他に会議室 11 などがある。展示会場の規模は、20,000 m² のパシフィコ横浜とほぼ同じくらいのホール面積である。

場所は、中央駅からトラムで20分程度。周辺には、商業施設、宿泊施設などは見当たらない。

Europa park(FreiburgSCの本拠地、サッカー場)や、遊園地がある。中央駅からさほど遠くないので、近隣の宿泊施設は必要ないかもしれない。



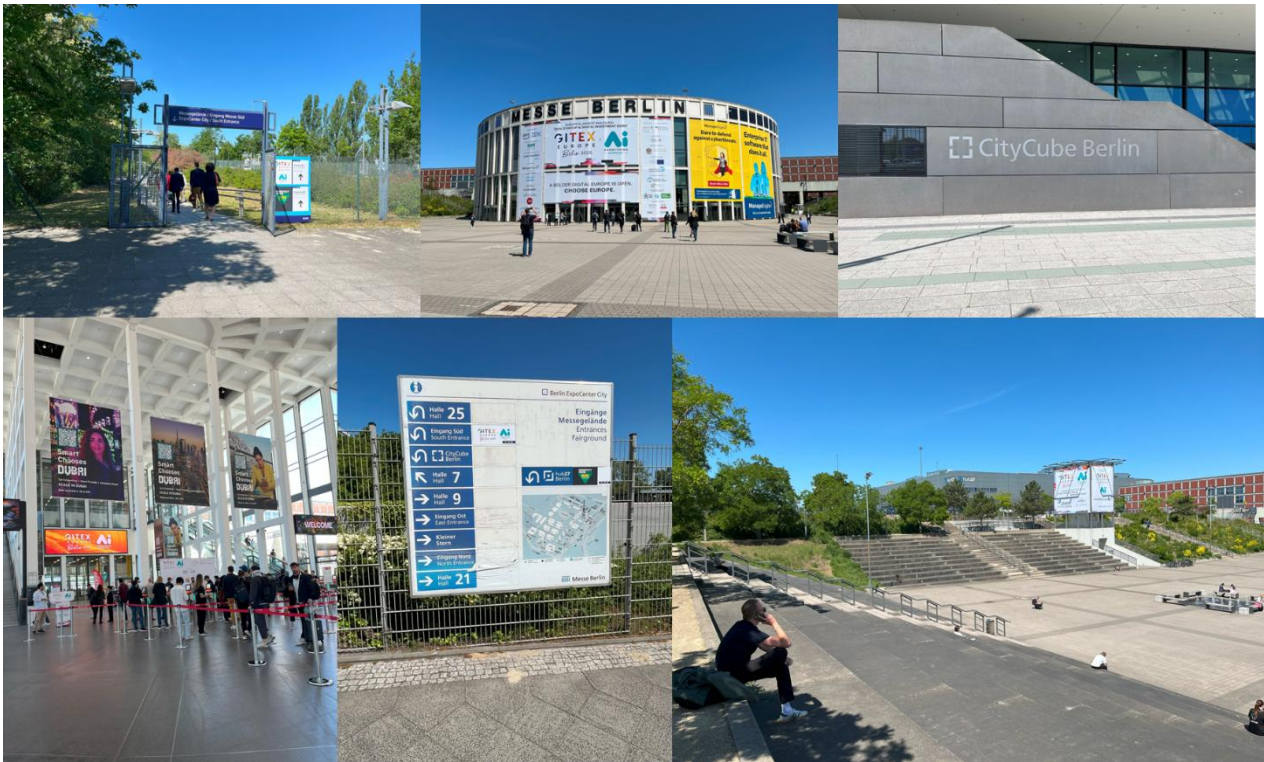
サッカースタジアム

遊園地

1-2. Messe Berlin

展示ホール 27 の他に City Cube Berlin など会議設備がある。

中央駅からは、U-Bahn または、S-Bahn で一時間弱かかる。広大な展示場ナタメ、「展示会場最寄り駅」が複数ある。周辺には、ibis などの複数のビジネスホテル、レストラン、長距離バスのターミナルなどがある。



1-3. Music Und KongressHalle Lubeck

ハンザ同盟の盟主であった都市リュベックにあるこじんまりとした音楽ホール・会議場からなる設備である。中央駅から徒歩で10分。旧市街を望む堀に沿って建てられており、リゾートのようなくつろぎも感じられる。隣にラディソンブルーホテルがあり、国際会議時は一体化して使用される。他にも近隣に

いくつものホテルがあり、一定以下の規模の国際会議に便利な街、設備と思われる。



2. BIO マーケット視察

ドイツでは、スーパーマーケットやドラッグストアに BIO 製品コーナーがあり、種類豊富、また、他の製品とあまり変わらない価格で販売されている。さらに、BIO 製品特化スーパーマーケットのチェーン店があり、あちこちでみかけることができる。アジア食品である醤油などの BIO 製品もある。



3. クリーンエネルギー

環境先進都市フライブルグをはじめ、ドイツの街では、電気自動車の充電ステーションが様々なところで見かけられ、同時に充電できる数も充実している。駐車場と充電スペースを兼ねた設備の写真が以下である。



(記 齊藤洋子)

M.I.Office は、国際会議・展示会・イベントの企画運営を通じて、国内外のビジネス交流と価値創出を支援しています。活動レポートでは、スタッフが現場や訪問先で得た気づきやトレンドをご紹介します。